

レポート番号：#651



目次

はじめに

要旨

基本情報

最新情報

分析

サマリー表

概観

今後の展望

次のステップ

Excelデータベース

Cockpit &
Infotainment

自動車コックピットアプリガイド

コンシューマーエレクトロニクスの世界で慣れ親しんでいる機能をユーザーに提供するために、自動車メーカーやその他デベロッパーは車両のセンターコンソール上で様々なアプリを提供しています。こうしたアプリは複数の機能領域にまたがり、そのエコシステムは急速に進化しており、ユーザーエクスペリエンスおよび車両ライフサイクルの両方において、ますます重要な役割を果たしています。そのため、独自のコックピットアプリストアや将来の自動車向けアプリの開発・拡張を検討しているOEMにとって、エコシステムおよびアプリの影響を理解することが非常に重要となります。

SBDでは、自動車OEM向けのアプリエコシステム全体に焦点を当て、コックピットおよびインフォテインメント領域における調査を行い、本書および「自動車向けスマートフォンアプリガイド」を発行します。本書では、各地域におけるOEMおよびサードパーティプレイヤーの最新動向や取り組みに関するインサイトを提供し、新しいアプリの発表やエコシステム全体の最新動向を考慮し、半年ごとに更新します。

関連レポート

デジタルコックピット&車載インフォテインメントガイド
レポート番号: 616

本書では、車内ユーザーエクスペリエンスとHMIの進化について、自動車メーカーが提供している様々なコックピットに関するデータをもとに考察する。各レポートで10万以上のデータを収録し、コックピットシステムの提供状況、搭載オプション、価格などの情報を提供するとともに、業界における主要な提携について概説する。

対象市場

欧州 米国 中国
日本 グローバル その他

レポート発行頻度

毎年更新 半年更新 四半期更新 毎月更新 1 ワンタイム

レポート形態

PDF PowerPoint Excel Online

ページ数

90+

本書について（調査対象・範囲）

本書では下記について解説しています。

- ＞ 車載アプリの多様性と、組み込みアプリおよびアプリストアにおける競争環境を詳細に網羅
- ＞ OEMがコックピットアプリストアおよびアプリの展開・運用に活用するエコシステムを包括的に分析
- ＞ 半年ごとのアップデートで、常に最新の情報を提供
- ＞ 10万以上のデータポイント

SBDカスタマーポータル

ご契約いただいたレポートへはお客様専用ポータルサイトからアクセスいただけます。

ポータルサイトのアカウントはご契約企業ごとに作成され、ご契約企業に所属する方であれば登録ユーザー数に制限はございません。

ご契約状況の確認や、ポータルサイトへの新規ユーザー登録をご希望の場合は、SBD Automotive ジャパンまでお問い合わせください。



本書に関するお問合せ・お見積り依頼

「自動車コックピットアプリガイド」

お問合せ・お見積り依頼



サンプルレポートの無料ダウンロード





2025年HY1版 自動車コックピットアプリガイド

発行年月：2025年6月
レポート番号：651-25-HY1

651 - 自動車コックピットアプリガイド - 欧州

はじめに >>	4	サマリー表 >>	45	概観 >>	69
要旨 >>	6	▪ BMWグループ ▪ BYDグループ ▪ Ford Motor Company ▪ Honda Motor ▪ Hyundai Motor Company ▪ Mazda Motor Corporation ▪ Mercedes-Benzグループ ▪ Mitsubishi Motors Corporation ▪ NIO Inc. ▪ Nissan Motor ▪ Renault グループ ▪ SAIC Motor ▪ Stellantis ▪ Subaru Corporation ▪ Suzuki Motor Corporation ▪ Tata Motorsグループ ▪ Tesla ▪ Toyota Motor Corporation ▪ Volkswagenグループ ▪ Zhejiang Geely Holding グループ		今後の展望 >>	77
基本情報 >>	13			次のステップ >>	84
最新情報 >>	21			お問い合わせ >>	91
▪ 発売された新車種 ▪ 業務提携／買収					
分析 >>	25				
▪ 基本アプリエコシステム ▪ オープンアプリエコシステム ▪ クローズドアアプリエコシステム ▪ ハイブリッドアプリエコシステム ▪ Google Built-inアプリエコシステム ▪ Google Built-inオープンアプリエコシステム ▪ スマートフォンアプリエコシステム ▪ OEMアプリエコシステムのマトリックス ▪ エコシステムの比較ベンチマーキング					



詳細に関するお問合せ



お客様からのフィードバック
本レポートについてご意見をお聞かせください





将来のUXのカギとなるコックピットアプリのエコシステムに注目

急速に進化する自動車サービスの世界では、消費者市場の影響を強く受けながら、コネクティビティの拡大とともに車内ユースケースが高度に進化している。EVや将来の自動運転車の進化の結果、ユーザーが車内で過ごす時間を快適にするための自動車アプリ領域が自社技術あるいは外部提携によって形成されるようになり、アプリとアプリストアが車載インフォテインメントユニットの不可欠な要素となり始めている。

SBDの『651 - 自動車コックピットアプリガイド』は、自動車コックピットへのアプリの統合について深く掘り下げると同時に、自動車アプリ市場で徐々に存在感を増している複数のエコシステム（プレーヤー）にも着目する。消費者エクスペリエンスを向上させるアプリエコシステムに焦点を当てるとともに、自動車メーカーが自動車アプリ市場に積極的に取り組む動機となる4つの主要なビジネス成果についても解説している。



消費者の要求



競争力の維持



運用効率



ブランドロイヤルティ

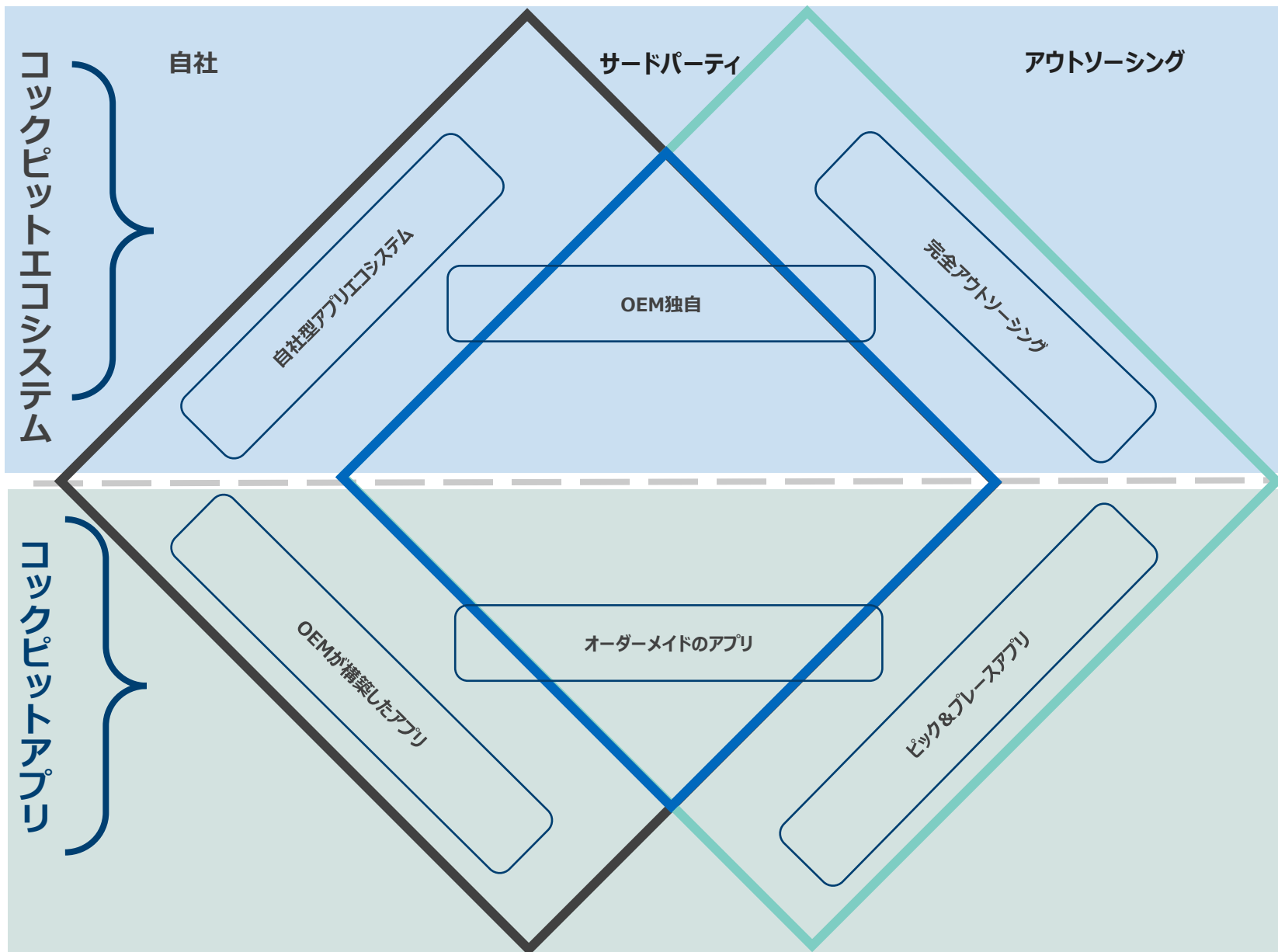
本書の重要ポイント

- 自動車アプリ市場を牽引するアプリエコシステムとその今後の展望とは？
- 各エコシステムが業界に与える影響にどのような違いがあるか？
- 最も競争力のあるアプリエコシステムを提供しているOEMとは？
- 新たに登場しているアプリは主にどの利用シーンをカバーしているか？

レイヤー	セクション	総括
戦略／影響	要旨	自動車コックピットのアプリエコシステムは多様な領域であり、先駆者は進化する新世代のアプリソリューションを徐々に採用している。進化に適応することは、将来の没入感のある車内体験を消費者に提供する上で重要なアクションである。
	基本情報	本章では、コックピットアプリとエコシステム概念および本レポートで使用される関連用語について、理解しやすく簡潔に説明する。
	最新情報	このセクションでは、当該分野で発表された最新車種、注目すべき発表、業務提携、買収についてまとめている。
情報収集／行動	分析	このセクションでは、OEMが採用したエコシステム戦略の動向と影響に関する詳細情報を取り上げる。
	サマリー表	この市場サマリーセクションでは、自動車コックピットアプリの概要と洞察、エコシステム、およびレポート内で調査した各OEMグループが力を入れている利用シーンを明らかにする。
	データベース	 エクセルのデータベースはこちらから
データベース（EXCEL）	OEMとエコシステム	
	エコシステムと機能	
	アプリとエコシステム	
	ランキングと世代	
	用語定義	
背景	概観	本トピックについて、SBDの関連レポートで確認されたトレンドの概要
	今後の展望	OEMの進行中／新規の開発、イノベーション、業務提携に関する今後の展望を4つのペルソナに分けて考察する。
	次のステップ	コックピットアプリは自動車の将来において不可欠な役割を果たすと考えられるが、どれほどの意欲で導入するかはOEMが決めることである。



自動車アプリエコシステムとコックピットアプリの構築



アプリ開発タイプ

統合型

基盤となるプラットフォーム、他のアプリ、ユーザーアカウントなどとのシームレスなデータ交換を想定して設計されたデフォルトアプリ/プリインストールアプリとして開発されるアプリ。シームレスなユーザーエクスペリエンスを可能にする。

サンドボックス型

特定のリソースやデータポイントのみにアクセスできる、制限された環境で機能するアプリ。これにより、アプリが適切な承認なしに他の車載仕様と干渉することを防ぎ、重要な資産を保護する。



基本アプリエコシステムはアプリ戦略がないOEMの頼りになる

該当するOEMの例



アプリの種類とサービス

一般的

音楽ストリーミング、ナビ/ルート案内、音声/チャットアシスタント、情報/ネットワーキング

プレミアム

- ❖ 動画ストリーミング
- ❖ パーソナライズ
- ❖ EV専用

少ない

- ❖ 車内決済
- ❖ ヘルスアラート
- ❖ ドライバーコーチング
- ❖ スマートメンテナンス

将来予測

- アプリ戦略に力を入れないOEMは、基本エコシステムの枠内にとどまり続ける可能性がある。
- 一方、Hyundaiグループが最近Googleと提携したように、ミレニアル世代のブランドイメージをアピールすることに熱心なOEMメーカーにとってはハイブリッド型へと分岐していくことが次の大きな一歩となるであろう。Google-Built-inの統合も考えられる。

ブランドへの影響

- ❖ 今や自動車にもアプリ文化が浸透し始めているが、ほとんどのOEMは基本エコシステムのようにソリューションを合理化するには至っていない。
- ❖ これに該当するブランドはユーザーに乱雑なUIを提供している場合があり、アプリの重要性を差し迫って感じていない表れと言える。

機能への影響

- ❖ 大半のブランドはナビ、エンタテインメント、音声HMIアプリに重点を置いているが、空調制御、室内灯、さらには旅行情報といったパーソナライズ機能もトレンドになりつつあるようだ。
- ❖ かつては主流であったメッセージングアプリは、ソーシャル/ネットワーキングアプリに取って代われ、もはや検討の余地はない。

セキュリティ

- ❖ 基本エコシステムは「統合型」のアプリ開発のみで構成されており、アプリが車両リソースや他のアプリにシームレスにアクセスできる。ブランドロイヤルティを高めるには高度なサイバーセキュリティが必要となる。

将来への影響

- ❖ 自動車アプリ市場に進化が見られる中で、コックピットアプリにアプリ中心の手法を採用しないことを選択する場合、アプリへの簡単なアクセスとシンプルな操作を可能にするすっきりとしたユーザーインターフェースを提供することが重要になる。



Googleアプリエコシステムは欧州ブランドには好まれていない

該当するOEM の例



アプリの種類と サービス

一般的

メディアストリーミング／エンタテインメント、
ナビ／ルート案内、VPA、
情報／ネットワーキング

プレミアム

- ❖ 車内決済
- ❖ パーソナライズ
- ❖ EV専用

少ない

- ❖ ドライバーコーチング
- ❖ スマートメンテナンス

将来予測

- ❖ ビデオ会議や車内決済の最近の統合がそうであるように、Googleの膨大なアプリライブラリを活用することで、OEMは車載ゲームやeコマースなど影響力のあるアプリの種類に簡単に対応できる。
- ❖ Google Built-inアプリエコシステムの将来は、自動車業界全体でより幅広いブランドの採用が見込まれ、CarPlay／Android Autoのスマートフォンエコシステムのように市場の大半を占める可能性がある。

ブランドへの影響

- ❖ この5年間、自動車ブランド（高級車・量産車に関係なく）は新たに改良されたGoogleアプリを自動車領域に非常に簡単に統合しており、これは欧州よりも米国で顕著な動向である。
- ❖ AAOSの登場によって自動車ブランドがGoogle Built-inサービス（GAS）のメリットを享受できるようになり、ユーザーには馴染みがあるブランドの利便性が提供され、OEMにはコスト効率面の効果がもたらされる。

機能への影響

- ❖ 膨大なアプリのライブラリがあるにもかかわらず、Renault-Nissan-Mitsubishiアライアンスはエンタテインメント、ナビ、情報、ネットワーキングといった同種のサービスの統合と、Google音声アシスタントのシームレスな体験に重点を置いている。
- ❖ Google Built-inエコシステムは主としてサードパーティ製アプリを提供し、OEM製アプリの統合は空調制御やEV専用機能などに限られるため、車両制御のレベルは限定的である。

ユーザーへの影響

- ❖ Google Built-inエコシステムは、UIやアプリの親しみやすさという点で、Googleが消費者のブランド体験と親和性があるため、使いやすさで最高ランクを維持している。
- ❖ Google Built-inサービスを利用するブランドにとって、クラウド統合とデータ同期という重要な要素が加わることで、他のどのアプリエコシステムとも異なるシームレスな体験をユーザーに提供できる。

将来への影響

- ❖ Google Play Storeを利用できるようになったことで、アプリアグリゲーターは新たな垂直型のアプリ収益化分野を獲得し、収益の一部をOEM側にも分配できる。
- ❖ しかし、GoogleとOEMがより高いレベルの車両カスタマイズとユーザーのパーソナライズを組み込む方法を長期的に採用することが肝要である。



BMWグループ

エコシステム内のアプリ属性

	基本	クローズド	オープン	ハイブリッド	Google-Built-in	Google Built-in - オープン	スマートフォン
高							
中							
低							

サマリー表

エコシステム	ブランド	機能カテゴリー									アプリの例
		メディアストリーミング／エンタテインメント	決済	ナビ／ルート案内	パーソナライズ	音声／チャットアシスタント	EV専用	情報／ネットワーキング	ドライバーコーチング	スマートメンテナンス	
クローズド	BMW	●		●	●	●	●	●		●	• AirConsole • BBC Sounds
	MINI	●		●	●	●				●	• Mini Navigation • Fruit Slice Frenzy
スマートフォン	BMW、MINI	●	●	●		●	●	●			• Android Auto* • CarPlay

重要ポイント

- BMWグループは、ConnectedDriveアプリスイートで「クローズド」エコシステムを採用し、シームレスな体験を保証している。こうした側面を慎重に規制することで、OEMはユーザーのデータプライバシーとプレミアムブランド体験を優先している。
- その結果、ユーザーはアプリストアを通じて、サードパーティのコンテンツに加え、車両を中心とした多数のアプリにアクセスできるようになる。UXの観点から、BMWはMINIモデルよりもプレミアムな体験を提供する

グループによるプレス発表

- BMWグループは、既存のストリーミングパートナーと提携し、BMWまたはMINIのOperating System 9を搭載した車両にParamount+による動画ストリーミングサービスを導入し、運転体験を向上させている。これには、BMW Digital PremiumまたはMINI Connected Packageとは別に、追加のサブスクリプションプランが必要となる。

凡例

	サンドボックス型アプリ
	統合型アプリとサンドボックス型アプリ
	統合型アプリ



Stellantis

エコシステム内のアプリ属性

	基本	クローズド	オープン	ハイブリッド	Google-Built-in	Google Built-in - オープン	スマートフォン
高							
中							
低							

重要ポイント

- Stellantisは米国と同様、欧州の全ブランドに一貫した戦略をとっている。IVIプラットフォームにいくつかのアプリをプリインストールしており、随時新しいアプリを導入する。これは従来のCarPlay／Android Autoのサポートに追加しての提供である。
- 提供されるサービスは非常に基本的なもので、主にコネクテッドナビと情報に重点を置いている。どのブランドも広帯域通信を要する機能は提供していない。

凡例	
	サンドボックス型アプリ
	統合型アプリとサンドボックス型アプリ
	統合型アプリ

グループによるプレス発表

- 今後、Stellantisは、STLA SmartCockpitによって、既存のモデルにストリーミング音楽、動画、ゲームなどの新しいコンテンツを提供していくと見られる。

サマリー表

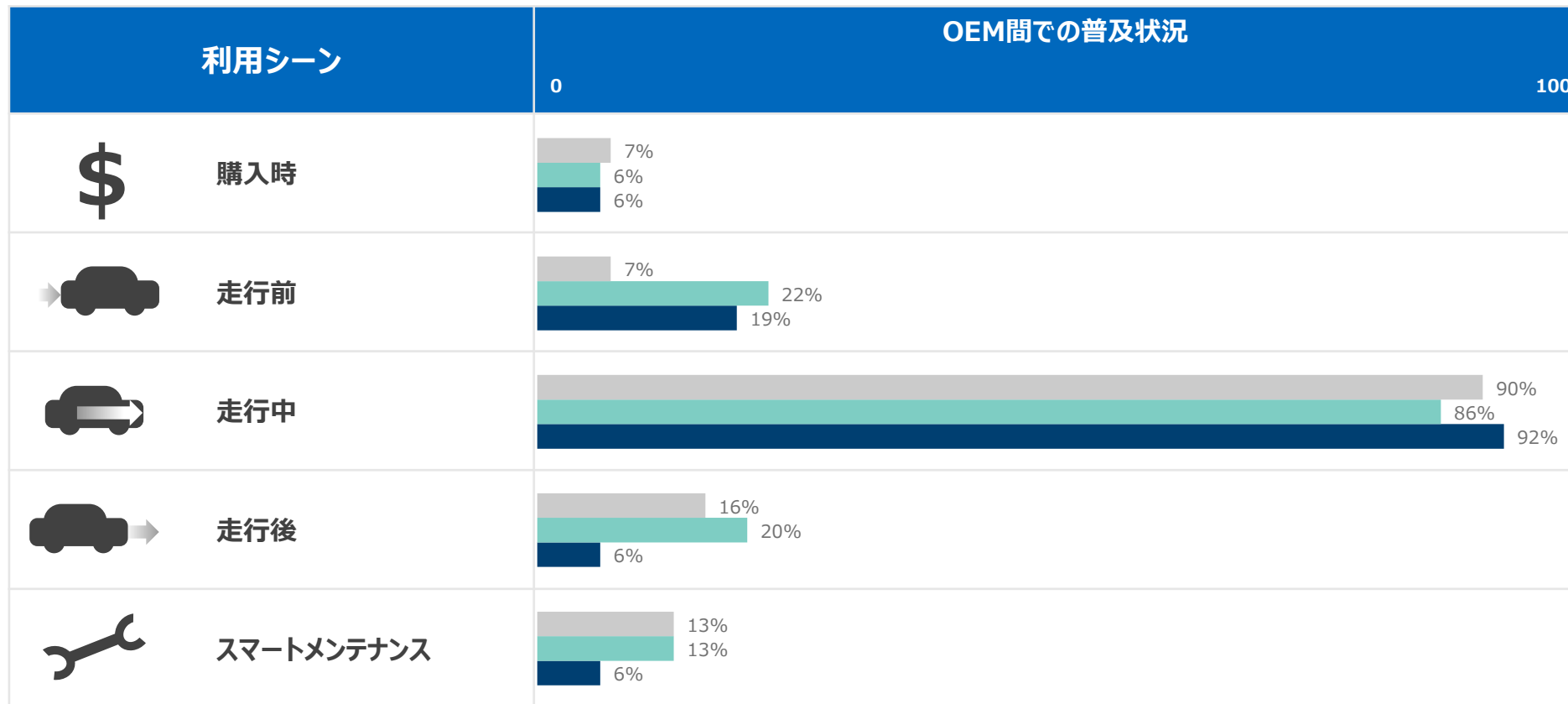
エコシステム	ブランド	機能カテゴリー									アプリの例
		メディアストリーミング／エンタテインメント	決済	ナビ／ルート案内	パーソナライズ	音声／チャットアシスタント	EV専用	情報／ネットワーキング	ドライバーコーチング	スマートメンテナンス	
基本	Alfa Romeo			●	●	●	●			●	• Hey Alfa
	Citroen			●		●	●				• TomTom GO Navigation
	DS	●		●		●		●	●		• eCoaching
	Fiat			●	●	●	●				• ナビ
	Jeep			●	●	●	●	●		●	• Hey Jeep
	Opel	●		●	●	●		●		●	• Battleship
	Peugeot	●		●	●	●	●	●		●	• Ok Peugeot
スマートフォン	全てのブランド	●	●	●		●	●	●			• Android Auto* • CarPlay

* Android Autoは、CarPlayとは異なり、EV専用のカテゴリーでEV充電機能を追加提供している。

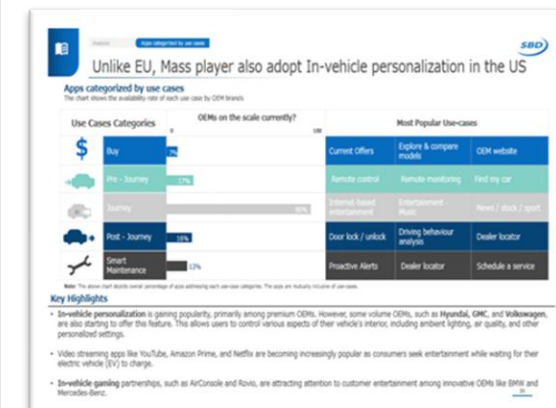


自動車アプリの利用シーンの主流は「走行」である

このグラフは、各地域のOEMブランドの各利用シーンへの提供状況を示したものである。



凡例	
	米国
	欧州
	中国



自動車向けスマートフォンアプリガイド（531）

本ガイドは、各地域の主要プレーヤーの最新動向と活動から得られた洞察を提供し、今後の展望についての理解を助けるものである。

[詳細](#)



お問い合わせ



SBD Automotive のお問い合わせ先

本書の内容、SBDのその他の調査・サービスについてのお問い合わせ

本書の内容、SBDのその他の調査・サービスについてお問い合わせは
SBD Automotive ジャパン (Postbox@sbdautomotive.com)
およびSBDのグローバル各拠点にて承っております。



Postbox@sbdautomotive.com

お問い合わせ



米国

英国

ドイツ

インド

中国

日本

各拠点のサポートエリアと担当窓口



Hailey Lueck

米国

haileylueck@sbdautomotive.com

+1 734 619 7969

Luigi Bisbiglia

欧州、中東、インド、アフリカ

luigibisbiglia@sbdautomotive.com

+44 1908 305102

SBD Asia Pacific Sales Team

アジア太平洋

postbox@sbdautomotive.com

+81 52 253 6201